

〔科目名〕 人事管理論Ⅱ	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 専門科目 基幹科目
〔担当者〕 中川宗人 NAKAGAWA Muneto	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業内で掲示する 場所: 505	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 人事管理は企業の経営資源であるモノ・カネ・ヒト・情報のうち、ヒトを対象としています。人事管理は企業の経営目標達成に貢献するために、ヒトが担う労働・サービスをより良く発揮できるように働きかけます。社会・経済の変化に伴って企業経営や人々の働き方も多様化し、人事管理のあり方も複雑になってきています。学問としての人事管理論は、こうした現代の人事管理を科学的に調査・研究し、望ましい人事管理のあり方を構想しようとする分野です。この人事管理論Ⅱでは、人事管理論の発展的な内容を扱います。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 人事管理は経営を構成する一機能ですが、労働時間や賃金といった事項を扱うことから、何らかの組織で働く人すべてにとって身近な科目です。また現在の人事管理に関する戦略は、経営戦略とも密接に関わり、企業の将来をますます左右するようになっていきます。人事管理論Ⅱでは、諸外国の働き方や人事管理制度についても扱います。そのため、海外の社会や歴史といった教養科目とも関連します。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 ・人事管理論の発展的な内容について説明することができる。 ・諸外国の人事管理制度の基礎的な特徴について説明することができる。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 学生からのフィードバックを取り入れ、最適な学習を達成できるようにつとめる。		
〔教科書〕 なし 指定のサイトにてスライド・資料をデータで配布する予定		
〔指定図書〕 今野浩一郎・佐藤博樹（2020）『人事管理入門 第3版』日本経済新聞出版 平野光俊・江夏幾多郎（2018）『人事管理』有斐閣 八代充史（2019）『人的資源管理論 第3版』中央経済社		
〔参考書〕 上林憲雄・平野光俊編（2019）『日本の人事システム』同文館出版 海老原嗣生・荻野進介(2018)『名著 17 冊の著者との往復書簡で読み解く 人事の成り立ち』白桃書房		
〔前提科目〕 人事管理論Ⅰを履修していることが望ましい。		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 筆記試験によって行います。 新型コロナウイルス感染症対策によって学事歴に変更があった場合はレポート等に変更する場合があります。		

〔評価の基準及びスケール〕 学生便覧の評価基準に準拠します。 A: 80点以上 B: 70点以上 C: 60点以上 D: 50点以上 F: 50点未満	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 日頃から雇用・労働に関するニュースに関心をもち、授業で得た知識を活かして疑問を発する習慣を養ってください。	
〔実務経歴〕 なし	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): イントロダクション 内 容: 授業の概要、進め方、成績評価などについて説明します。 教科書・指定図書
第2回	テーマ(何を学ぶか): 職場の衛生・安全管理 内 容: 労働者の健康・生命に直接関わる職場の衛生安全管理の機能と歴史について学びます。 教科書・指定図書
第3回	テーマ(何を学ぶか): 懲罰制度 内 容: 人事管理は人材の活用だけでなく、企業内の秩序の維持のための懲罰の執行も担っています。その制度や歴史について学びます。 教科書・指定図書
第4回	テーマ(何を学ぶか): 女性雇用 内 容: 20 世紀の人事管理は長らく壮年期の男性を中心としてきました。女性の働き方が変化し、旧来のあり方は見直しを迫られています。女性雇用の歴史や人事管理の課題について学びます。 教科書・指定図書
第5回	テーマ(何を学ぶか): ワーク・ライフ・バランス 内 容: 人々の意識や家族、社会の変化によって、仕事中心の働き方を前提とした人事管理は見直しを迫られています。こうした問題に対処する枠組みであるワーク・ライフ・バランス問題について学びます。 教科書・指定図書
第6回	テーマ(何を学ぶか): 高齢者雇用 内 容: 高齢化の進展によって、高齢者の活用が求められています。高齢者雇用に関する歴史や課題、近年の人事管理の実践について学びます。 教科書・指定図書
第7回	テーマ(何を学ぶか): テレワーク・在宅勤務制度 内 容: ICT 技術の進展によって、テレワーク、在宅勤務、リモートワークといった新しい働き方が可能になっています。こうした展開に対処するための人事管理のあり方と事例について学びます。 教科書・指定図書
第8回	テーマ(何を学ぶか): 外国人人材の管理 内 容: グローバル化の進展によって、様々な国籍の人が企業で働くようになってきています。外国人人材の活用のための課題について学びます。 教科書・指定図書

第9回	テーマ(何を学ぶか):国際人的資源管理 内 容:企業の海外進出によって、複数の国にまたがる人事管理も求められています。その枠組である国際人的資源管理の概要について学びます。 教科書・指定図書
第10回	テーマ(何を学ぶか): 中小企業の人事管理 内 容:日本に存在する企業の 9 割は中小企業です。他方で従来の人事管理論は大企業の制度中心でした。中小企業の人事管理の歴史や実態、課題について学びます。 教科書・指定図書
第11回	テーマ(何を学ぶか):海外の人事管理制度:アメリカ 内 容:諸外国の人事管理について学びます。その国の働き方や労使関係の概要をふまえて、代表的な企業の人事管理制度についての事例研究を紹介します。 教科書・指定図書
第12回	テーマ(何を学ぶか):海外の人事管理制度:ドイツ 内 容:諸外国の人事管理について学びます。その国の働き方や労使関係の概要をふまえて、代表的な企業の人事管理制度についての事例研究を紹介します。 教科書・指定図書
第13回	テーマ(何を学ぶか):海外の人事管理制度:韓国 内 容:諸外国の人事管理について学びます。その国の働き方や労使関係の概要をふまえて、代表的な企業の人事管理制度についての事例研究を紹介します。 教科書・指定図書
第14回	テーマ(何を学ぶか):人事管理論の研究法 内 容:学問としての人事管理論について紹介します。日本での研究の歴史や主な知見、人事管理論の研究方について学びます。 教科書・指定図書
第15回	テーマ(何を学ぶか):まとめ 内 容:授業全体のまとめ、期末テストの解説 教科書・指定図書
試 験	